

事業番号	事業名	内容	対象外 項目番号
1	火災等災害活動事業	消防資機材の整備・維持管理	-
2	救急・救助等活動事業	救急資機材の整備・維持管理・保守・教育研修	-
3	消防車両等維持管理事業	消防車両等の車検・点検等維持管理	②
4	消防用施設等整備事業	消火栓維持管理補償費・消防水利維持管理	-
5	消防専用無線維持管理事業	緊急指令装置の維持管理・保守	②
6	街頭消火器購入事業	初期消火の充実・強化	-
7	消防救急無線整備事業	消防救急無線の共同化・高度化・機能強化	①
8	消防団車両等維持管理事業	消防団車両の車検・点検等維持管理	②
9	小型動力ポンプ付積載車購入事業	火災等災害対応の強化・充実	③

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月18日
事業名	火災等災害活動事業	担当課・係名	消防署・国府分署
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	1
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要																																																				
目的 (何のために)	火災等の災害に出動し被害の軽減を図るとともに、災害現場で必要とする資機材の点検・整備を実施																																																			
対象 (誰を・何を)	大磯町民																																																			
内容	火災時の消火活動及び警戒活動等に職員が2交替24時間体制で対応 災害現場で使用する、資機材の点検・整備																																																			
根拠法令・条例等	消防法・消防組織法																																																			
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成24年度 (決算)</th> <th>平成25年度 (決算見込)</th> <th>平成26年度 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事業費</td> <td>直接事業費 (a)</td> <td>千円</td> <td>978</td> <td>539</td> <td>701</td> </tr> <tr> <td> 国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 起債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 一般財源</td> <td>千円</td> <td>978</td> <td>539</td> <td>701</td> </tr> <tr> <td>職員人数 (概算職員数)</td> <td>人</td> <td></td> <td>6.55</td> <td>5.60</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (b)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>38,461</td> <td>32,883</td> </tr> <tr> <td>総事業費 (a)+(b)</td> <td>千円</td> <td>978</td> <td>39,000</td> <td>33,584</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	事業費	直接事業費 (a)	千円	978	539	701	国庫支出金	千円				県支出金	千円				起債	千円				その他	千円				一般財源	千円	978	539	701	職員人数 (概算職員数)	人		6.55	5.60	人件費計 (b)	千円		38,461	32,883	総事業費 (a)+(b)	千円	978	39,000	33,584
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)																																																
事業費	直接事業費 (a)	千円	978	539	701																																															
	国庫支出金	千円																																																		
	県支出金	千円																																																		
	起債	千円																																																		
	その他	千円																																																		
	一般財源	千円	978	539	701																																															
	職員人数 (概算職員数)	人		6.55	5.60																																															
人件費計 (b)	千円		38,461	32,883																																																
総事業費 (a)+(b)	千円	978	39,000	33,584																																																
事業費内訳 H 26 年度	需用費：320千円 役務費：361千円 負担金補助及び交付金：20千円																																																			

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 総出動件数	件	424	362	410
	②				
活動指標 (活動量)	① 火災件数	件	16	8	10
	② その他出動	件	408	354	400
成果指標 (達成度等)	① 火災件数	件	16	8	10
	② その他出動	件	408	354	400

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	火災等災害において被害を最小限に止めている。老朽化した災害活動資機材の整備が必要である。消防署で円滑に事業を遂行している。また事業の性質上、消防署が実施主体となるのは妥当と考える。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	火災等災害において被害を最小限に止めている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	火災等災害が発生しても最小限の被害に止めている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	必要最低限の資機材で活動している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	火災等、災害活動を行うため必要資機材の点検・整備は必要である。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 老朽化した資機材の整備が遅れているが、おおむね良好である。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	老朽化した資機材整備を計画的に更新する。
② 平成27年度に着手する事項	老朽化及び複雑多様化する災害対応のための資機材の整備。
③ その他（課題、調整事項等）	毎年度老朽化した資機材を更新し整備するための予算確保。

6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

火災等災害現場で必要とする資機材を計画的に更新するとともに、点検・整備を実施する。

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月18日
事業名	救急・救助等活動事業	担当課・係名	消防署・国府分署
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	2
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要																																																				
目的 (何のために)	救急・救助等の災害に出動し適切な救急救命処置及び救助活動に努めるとともに、災害現場で必要とする資機材の点検・整備を実施																																																			
対象 (誰を・何を)	大磯町民																																																			
内容	救急・救助等の出動に職員が2交替24時間体制で対応 災害現場で使用する、資機材の点検・整備 職員の能力向上のため、教育・研修に出向																																																			
根拠法令・条例等	消防法・消防組織法・救急救命士法																																																			
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>平成24年度 (決算)</th> <th>平成25年度 (決算見込)</th> <th>平成26年度 (予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">事業費</td> <td>直接事業費 (a)</td> <td>千円</td> <td>5,975</td> <td>5,721</td> <td>6,168</td> </tr> <tr> <td> 国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 起債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 一般財源</td> <td>千円</td> <td>5,975</td> <td>5,721</td> <td>6,168</td> </tr> <tr> <td>職員人数 (概算職員数)</td> <td>人</td> <td></td> <td>6.55</td> <td>6.05</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (b)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>38,461</td> <td>35,526</td> </tr> <tr> <td>総事業費 (a)+(b)</td> <td>千円</td> <td>5,975</td> <td>44,182</td> <td>41,694</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	事業費	直接事業費 (a)	千円	5,975	5,721	6,168	国庫支出金	千円				県支出金	千円				起債	千円				その他	千円				一般財源	千円	5,975	5,721	6,168	職員人数 (概算職員数)	人		6.55	6.05	人件費計 (b)	千円		38,461	35,526	総事業費 (a)+(b)	千円	5,975	44,182	41,694
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)																																																
事業費	直接事業費 (a)	千円	5,975	5,721	6,168																																															
	国庫支出金	千円																																																		
	県支出金	千円																																																		
	起債	千円																																																		
	その他	千円																																																		
	一般財源	千円	5,975	5,721	6,168																																															
	職員人数 (概算職員数)	人		6.55	6.05																																															
人件費計 (b)	千円		38,461	35,526																																																
総事業費 (a)+(b)	千円	5,975	44,182	41,694																																																
事業費内訳 H 26 年度	需用費：2,092千円 役務費：1,669千円 使用料及び賃借料：708千円 負担金補助及び交付金：1,699千円																																																			

3. 指標値の推移					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 総出動件数	件	1,532	1,507	1,530
	②				
活動指標 (活動量)	① 救急出動	件	1,524	1,503	1,520
	② 救助出動	件	8	4	10
成果指標 (達成度等)	① 搬送人員	人	1,475	1,462	1,470
	② 救助人員	人	7	2	10

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 本署・分署ともに高規格救急車を配備し、常時救急救命士が救急活動に従事している。消防署で円滑に事業を遂行している。また事業の性質上、消防署が実施主体となるのは妥当と考える。
	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 本署・分署ともに高規格救急車を配備し、常時救急救命士が救急活動に従事している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 理由 各隊に救急救命士及び高規格救急車が常備配備され、高度な救急処置が実施されている。
	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 理由 必要最低限の資機材で活動している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 理由 高度化する救急救命処置及び救助活動を行うため必要資機材の点検・整備は必要である。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 増加する救急件数、高度化する救命処置、高まる町民や社会のニーズに対し、救急救命士の研修及び救急資機材等の充実が必要である。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	高度化する救急・救助活動に対応するため計画的に資機材整備を行う。
② 平成27年度に着手する事項	高度救命資機材の整備、複雑多様化する救助活動に対応するための救助資機材の整備。
③ その他（課題、調整事項等）	高度救命資機材等の整備のための予算確保。 限られた人員配置での活動のため教育・研修への出向人員調整が困難な状況下にある。

6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

A E Dの適正配置に関するガイドラインに沿ってA E Dを設置し、救命率の向上を図る。また、救急・救助現場で必要とする資機材を計画的に更新するとともに、点検・整備を実施する。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月18日
事業名	消防用施設等整備事業	担当課・係名	消防署・国府分署
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	4
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	災害時に使用する消火栓及び防火水槽など消防水利の維持管理				
対象 (誰を・何を)	消火栓、防火水槽等				
内容	水利標識の整備及び消防水利の点検並びに維持管理				
根拠法令・条例等	消火栓補償協定				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	627	700	964
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	627	700	964
	職員人数 (概算職員数)	人		3.13	2.73
	人件費計 (b)	千円		18,380	16,031
総事業費 (a)+(b)	千円	627	19,080	16,995	
事業費内訳 H 26 年度	需用費：44千円 原材料費：18千円 負担金補助及び交付金：902千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 公設消火栓	基	555	556	556
	② 公設防火水槽	基	79	79	79
活動指標 (活動量)	① 延べ点検人員	人	66	80	75
	② 延べ点検人員	人	66	80	75
成果指標 (達成度等)	① 延べ点検日数	日	11	16	20
	② 延べ点検日数	日	11	16	20

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	消防署で円滑に事業を遂行している。また事業の性質上、消防署が実施主体となるのは妥当と考える。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	消防活動に必要な水利として常に維持管理されている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	消火活動時に支障なく使用できている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	神奈川県公営企業管理者との協定で前々年度の修繕費を基に算出している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	要修理と確認された消火栓は全て修繕するのではなく、水道局と事前協議し必要可否を判断している。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 日頃の維持管理により、災害発生時、支障なく使用できている。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	過大の修繕等を防止するため、要修理と確認された消火栓については、水道局と修繕の必要可否について事前協議を行った上で修理を行なうことにより、修繕等のコスト抑制に努めている。
② 平成27年度に着手する事項	なし。
③ その他（課題、調整事項等）	なし。

6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

火災等災害時に使用する消火栓及び防火水槽など消防水利の整備及び維持管理並びに点検を実施する。
--

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成26年7月18日
事業名	街頭消火器購入事業	担当課・係名	消防署・国府分署
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	6
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要					
目的 (何のために)	町内に設置してある老朽化した街頭消火器を更新し、火災発生時の初期消火活動の強化・充実				
対象 (誰を・何を)	町内に設置してある街頭消火器				
内容	町内に設置してある街頭消火器の保守点検、維持管理及び更新				
根拠法令・条例等	大磯町地域防災計画				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算見込)	平成26年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,669	557	1,886
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,669	557	1,886
	職員人数 (概算職員数)	人		1.75	2.20
	人件費計 (b)	千円		10,276	12,918
総事業費 (a)+(b)	千円	1,669	10,833	14,804	
事業費内訳 H 26 年度	需用費：864千円 役務費：1,022千円				

3. 指標値の推移						
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)			単位	24年度 (実績値)	25年度 (実績値)	26年度 (見込み又は 計画値)
対象指標 (対象者数等)	①	大磯町民 (4/1現在)	人	32,587	32,625	32,523
	②	更新予定数	本	150	50	80
活動指標 (活動量)	①	火災発生時の街頭消火器使用実績	本	0	0	0
	②	更新数	本	150	50	80
成果指標 (達成度等)	①	消防署管理当初からの街頭消火器 使用実績		平成8年～平成26年4月までの間、21件の火災で使用		
	②					

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	消防署で円滑に事業を遂行している。また事業の性質上、消防署が実施主体となるのは妥当と考える。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	老朽化した街頭消火器の更新、保守点検が円滑に行われている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	老朽化した街頭消火器もあるが、保守点検等により初期消火に必要な状態に維持管理されている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	火災発生時の使用実績や近隣市町の設置状況からすると、やや非効率である。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	設置基準に基づき、設置本数1500本から800本へ変更をする
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 老朽化した消火器もあるが、日頃の維持管理により支障なく使用できている。

5. 改革・改善の方向性（平成 27 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	街頭消火器設置基準に基づき老朽化している街頭消火器の計画的な更新。
② 平成27年度に着手する事項	街頭消火器設置基準に基づき継続的な更新。
③ その他（課題、調整事項等）	毎年度老朽化した街頭消火器の配置更新調整。

6. 平成27年度事業への取り組み状況（改善内容等）

町内に設置してある老朽化した街頭消火器を計画的に更新し、火災発生時の町民による初期消火活動の強化・充実を図る。
